

# お子さまへの薬の飲ませ方に悩んだら

小児期は成長の過程で大きく二期に分けられます。それぞれの成長期で処方されやすい剤形（**粉末、錠剤、カプセル、液体**などの形のこと）と飲ませ方をお話しします。



## ★ 新生児期～乳児期 (出生から一歳ころ)

栄養のほとんどが、母乳またはミルク（人工乳）からの摂取です。生後五〜六カ月からは離乳食が始まりますが、摂取間隔には個人差があります。この時期はお腹がしばしばだる薬を受け付けてくれないことが多く、服用間隔に合う授乳前や離乳食前、すなわち、お腹がすいている時に最も効率よく飲ませられます。実際、医師も「毎食前」「朝夕食前」など慣例上、食事を基本に指示することが多く、この場合の食前とは授乳前または離乳食前ということになります。

## ★ 幼児期 (一〜六歳ころ)

**散剤(粉末)**…水に溶けやすい薬は溶かしてからシロップ剤の要領で飲ませます。溶けにくい薬は、小皿などに移して一〜数滴の水で固めてタンシタにするか練ってペースト状にして、きれいに洗った指で口の中へ上あごや、ほおの内側に塗りつけ、水を含ませて飲み込ませます。

ミルクに混ぜるのは禁物です。ミルクの味が変わってしまい、栄養源であるミルクを嫌いになって飲まなくなるとは大変です。

乳児期同様シロップ剤や粉薬を飲ませます。

一日三回家族と同じ時間に食事をとっていると、だいたい一歳ころから食事と薬の違いを認識できるようになります。同時に、薬の服用で問題が多くなるもの時期です。味覚が発達してきて、「まずい」「や」「苦い」など自分の好みにあわない薬を、飲まなかった

## ★ 学童期

計り、ほ乳瓶の乳首部分に静かに注ぎ、そのままくわえさせるとミルクを飲む要領で飲んでくれます。授乳方法が人工乳の幼児はもちろんで、母乳の場合でもほ乳瓶の乳首を嫌がらない乳児には有効です。また市販の目盛り付きのスプーンや水薬瓶付属のカップやスプーンなどで服用させます。

幼児期の後半四〜五歳ころになると、粉薬を袋から直接飲めるようになり、苦い薬もそのまま飲めるようになります。また幼児期後半の五〜六歳から学童期になると、薬によっては錠剤が処方されるようになります。そのため粉薬は上手に飲んでいたので、錠剤では水ばかり飲み込んで肝心の薬がいつまでも口の中に残り、表面が溶けたばかりでなくなってしまう、ますます飲めなくなるのです。そんなときも服薬補助ゼリーで飲ませてみましょう。

をきちんと飲むことです。最後に、日ごろ多く寄せられる質問を紹介します。

**Q** 熱が出たので、坐薬を挿したが、便と一緒に出てしまった。もう一度坐薬を挿すタイミングは？

**A** 排便した時間によります。坐薬が溶けずに原形をとどめている（挿入後すぐ排便）なら、もう一度挿してもよいですが、数分以上たつてから排便し、坐薬が溶けた形跡があれば、薬が吸収された可能性があり、新しい坐薬を挿入すると、過剰投与になる危険性があります。まずは、そのまま熱の下がり具合を見てください。熱が上がるようなら、四時間以上たつていれば新しい坐薬を挿入してもよいと思われま

ます。これらは、ジュースやスポーツ飲料などの酸性飲料に溶かすと一層苦味が増してしまいます。牛乳やコンデンスミルク、アイスクリームなどに混ぜると苦味が感じなくなり、飲みやすくなります。ただし、混ぜることで薬の効果に影響する抗生物質もありま

すので、薬と食物の相互作用、薬をもらつ際に混ぜてもよいか、薬剤師にお尋ねください。

**コンデンスミルクに混ぜる**…味色ともに濃いため、薬本来の色や味を隠し、薬と気付かれずに飲ませられます。市販のコンデンスミルクや練りチョコ、チョコレートアイスなどもお勧めです。

**その他にも**…シヤムやビターリッパなど甘くて味の濃いものに溶かしてもよいでしょう。注意することは薬を飲ませる最低限の量に混ぜること。乳歯が生えそろう時期でもあり、薬を飲んで虫歯になってしまう

個人差があるので、どうしても飲めない場合は無理をせず飲める剤形にしてみようことです。剤形の変更は主治医と薬剤師が相談して行い、費用がかかることもありますので、薬剤師とよく相談ください。重要なのは、薬

り吐き出したりする子もいます。授乳期のころでは、原則、水で服用とお話ししましたが、この時期は、薬をいかにして飲ませるかが重要です。そのためさまざまなものに混ぜて飲ませることも必要です。

**服薬補助ゼリーを使う**…市販されているお薬を飲みやすくするための専用のゼリーです。感覚としてはゼリー状のオムロンと思ってください。オムロン同様、薬と混ぜるのではなく、ゼリーに薬をのせて上からゼリーをかぶせて飲ませます。口の中に薬が広がらず、ゼリーの味（イチゴ、ピーチ、チョコ、レイト味など）で飲めるため子ども好みの味を選べば嫌がらずおいしく飲ませることが出来ます。

**牛乳やコンデンスミルクに混ぜる**…抗生物質の中には、ドライシロップのようにつく味付けがあってもなお苦味が口の中に残るものがあり

## 基準薬局リスト

鹿角市	
朝日薬局	☎0186-23-3031 ㊟23-7610
Aコープ・ナリタ薬局	☎0186-22-0028 ㊟22-0028
かづの調剤薬局	☎0186-30-0085 ㊟30-0086
金山薬局花輪店	☎0186-23-5626 ㊟30-1666
黒沢薬局	☎0186-35-3200 ㊟35-3990
すみれ調剤薬局小坂店	☎0186-29-5121 ㊟29-5122
ニシムラ薬局	☎0186-37-2027 ㊟37-3368
花輪調剤薬局	☎0186-30-0066 ㊟30-0060
村木薬局	☎0186-22-0372 ㊟22-0472
薬局高橋屋	☎0186-37-4700 ㊟37-4701
柳沢薬局	☎0186-23-7562 ㊟23-7585

大館市	
相原薬局	☎0186-42-0293 ㊟42-0338
河畔薬局ジャスコ店	☎0186-43-4622 ㊟43-4677
カマヤ薬局	☎0186-42-0406 ㊟42-8406
皇漢堂薬局本店	☎0186-48-6733 ㊟48-6963
タカハシ薬局	☎0186-42-0312 ㊟45-1300
タカハシ薬局三の丸支店	☎0186-49-2318 ㊟45-1301
タカハシ薬局末広店	☎0186-42-0525 ㊟45-1302
殿村薬局栄町店	☎0186-49-0915 ㊟49-1739
ナカマチ調剤薬局	☎0186-43-4026 ㊟43-5788
能登屋薬局	☎0186-42-2727 ㊟42-8747
ひまわり調剤薬局	☎0186-42-4162 ㊟43-3331
ファミリー薬局	☎0186-42-8144 ㊟42-9232
ホテヤ調剤薬局	☎0186-43-6400 ㊟45-1188
ホテヤ薬局	☎0186-42-2425 ㊟45-1187
ホテヤ薬局いとく店	☎0186-49-1179 ㊟49-0129
ホテヤ薬局御成町店	☎0186-42-4123 ㊟43-5171
ひない調剤薬局	☎0186-45-4203 ㊟45-4031

北秋田市	
昭和堂薬局	☎0186-63-0300 ㊟63-0323
北秋調剤薬局	☎0186-63-2510 ㊟63-1904
米代薬局	☎0186-62-0120 ㊟63-2087

能代市	
赤玉薬局	☎0185-54-6074 ㊟52-3081
赤玉薬局駅前店	☎0185-53-4616 ㊟53-4619
赤玉薬局落合店	☎0185-89-1199 ㊟89-1210
河畔薬局	☎0185-52-3996 ㊟52-3997
きく薬局	☎0185-52-0345 ㊟52-0321
さいとう薬局	☎0185-89-1312 ㊟89-1314
のしろ佐野薬局	☎0185-89-1566 ㊟89-1567
はまなす薬局	☎0185-54-8866 ㊟54-8899
ひがし薬局	☎0185-58-3878 ㊟58-3029
ピノキオ薬局	☎0185-53-5600 ㊟53-5660
やなぎ薬局	☎0185-54-6507 ㊟54-6533

山本郡峰浜村	
皆川薬局	☎0185-76-2052 ㊟76-2199

秋田県薬剤師会  
秋田市千秋久保町6-6 TEL.018-833-2334  
E-mail: info@akiyaku.or.jp  
http://www.akiyaku.or.jp

処方せん公文書の有効期限は処方日を含めて4日間です。